

2026年3月期 決算概要

2026年5月13日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2026年3月期の決算概要

2026年3月期 決算ハイライト

日本の受注状況は引き続き低迷、中国を中心に海外事業が好調に推移

売上	連結	連結売上高は、前期比103.1%、12億円増収の421億円
	日本	前期比94.9%の110億円 特に自動車関連の落ち込みの影響大
	中国	前期比106.5%の249億円 自動車関連の受注が増加しており増収
	東南アジア	前期比104.6%の20億円 マレーシア・インドネシア・ベトナムは好調、インド・シンガポールが不調
	欧米他	前期比106.9%の41億円 欧州が好調に推移
利益		営業利益は前期比120.5%の2,031百万円 経常利益は前期比136.4%の2,201百万円 ASCeのれん減損により親会社株主に帰属する当期純利益は前期比98.1%の851百万円
ネット資金		当期純利益の計上等により、期首から164百万円増加

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

1

■ 2026年3月期の決算ハイライト

- 売上面では、日本の受注状況は引き続き低迷したが、中国を中心に海外事業が好調に推移し、増収
- 利益面では、海外事業での増収が貢献し、営業利益と経常利益は大きく増益
- 一方、当期純利益は2026年3月期3Qにおいて、アスクに関するのれん減損3億31百万円を計上したことから、前期より微減

損益計算書サマリー

(単位:百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前期差	前期比
売上高	40,822		42,100		1,278	103.1%
営業利益	4.1%	1,685	4.8%	2,031	346	120.5%
経常利益	4.0%	1,613	5.2%	2,201	587	136.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.1%	868	2.0%	851	▲ 16	98.1%

【為替レート(実績)】 1人民元=20.93円/1USドル=150.43円



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

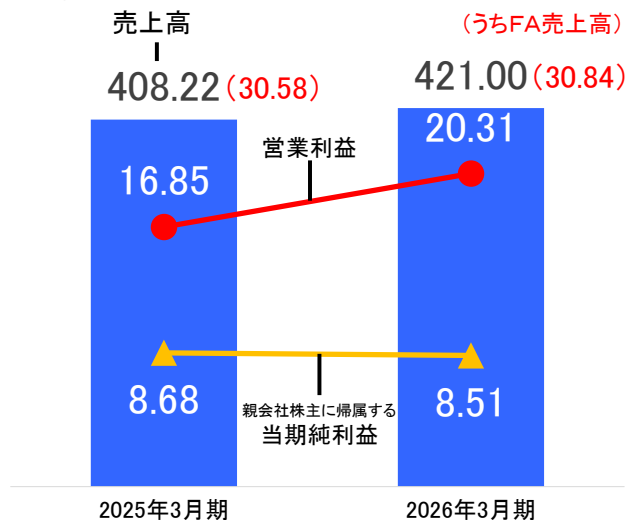
© PUNCH INDUSTRY

2

- 決算数値の概要
- 売上高は421億円で前期比103.1%、12億78百万円の増収
- 営業利益は20億31百万円、経常利益は22億1百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8億51百万円
- 為替レート(実績) 1人民元=20.93円/1USドル=150.43円

売上高と利益

(単位: 億円)



【前期比較】

売上高 12 億 78 百万円 増収

営業利益 3 億 46 百万円 増益

純利益 16 百万円 減益

※親会社株主に帰属する(四半期・中間・当期)純利益

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

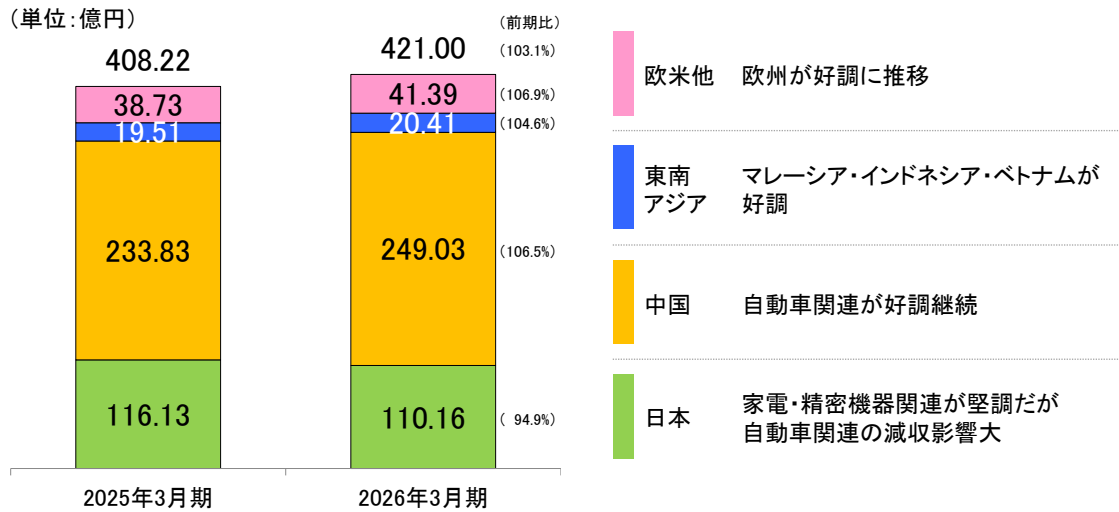
© PUNCH INDUSTRY

3

- 2025年3月期と2026年3月期の売上高・利益比較(通期)
- 前期の数値と比較して、当期純利益のみが前期割れ
- FA売上は中国事業での増収幅が貢献したものの、日本では減収となったこともあり、連結上では前期より微増にとどまった

地域別売上高

中国では自動車関連の受注が好調に推移し、欧米他も好調に推移



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

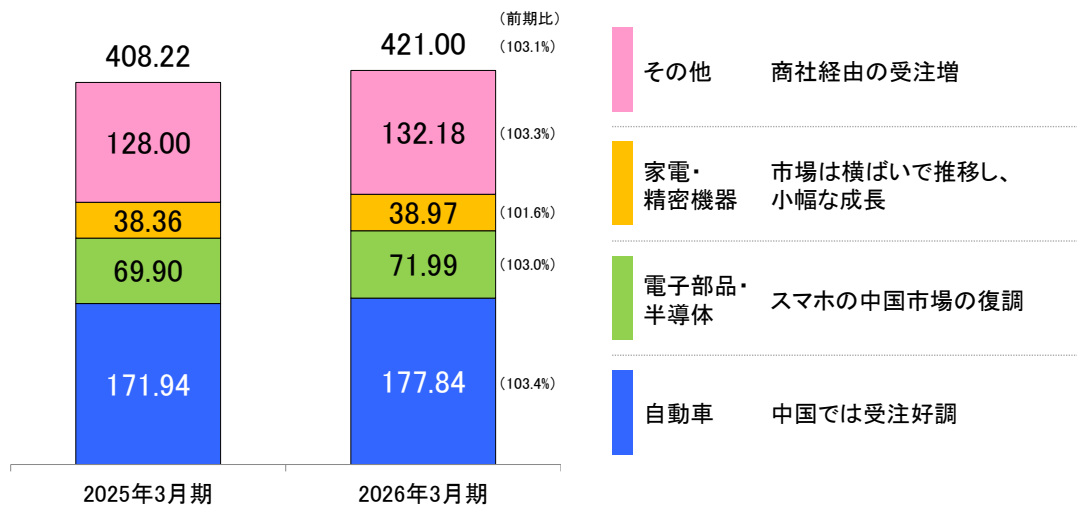
© PUNCH INDUSTRY

4

- 2025年3月期と2026年3月期の地域別売上高比較(通期)
- 日本が前期を下回った一方、中国・東南アジア・欧米他が前期を上回る実績

業種別売上高

自動車関連は中国での受注増、その他は商社経由の受注増



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

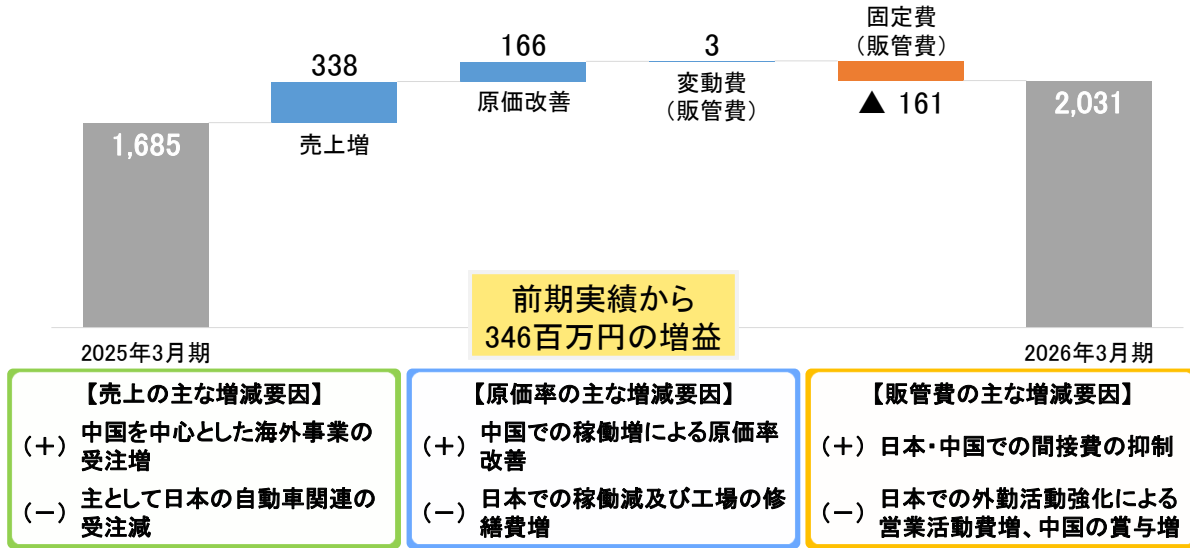
© PUNCH INDUSTRY

5

- 2025年3月期と2026年3月期の業種別売上高比較(通期)
- 自動車関連は、中国での新車プロジェクト等の受注が上期にあり、好調に推移
- 電子部品・半導体関連は、中国のスマホ向け市場が復調気配
- 家電・精密機器関連は市場が横ばい推移となっており、小幅な増収
- その他は商社経由の受注増

営業利益増減

(単位: 百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

6

■ 2025年3月期と2026年3月期の営業利益の増減分析(通期)

■ 前期の営業利益16億85百万円に対して、

売上増による3億38百万円の増益効果

原価率は、日本での稼働が良化していないこともあったが、中国での受注好調に伴う稼働改善があり、1億66百万円の増益影響

販管費は、間接費抑制に努めているが、日本での外勤活動強化による営業活動費や業績好調な中国の賞与が増加して、1億61百万円の減益影響

■ 結果、2026年3月期の営業利益は、前期から3億46百万円の増益となる20億31百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位: 百万円)

	2025年3月期末	2026年3月期末	比較増減
総資産	32,970	34,300	1,330
総負債	10,931	11,220	289
うち有利子負債	3,101	3,083	▲ 18
純資産	22,038	23,079	1,041
ネット資金	3,393	3,558	164
自己資本比率	66.7%	67.3%	0.6pt
株主資本利益率(ROE)	5.4%	5.0%	▲ 0.4pt
投下資本利益率(ROIC)	6.0%	7.0%	1.0pt
設備投資額(無形固定資産含む)	1,058	1,222	164
減価償却費(無形固定資産含む)	1,177	1,177	0

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

7

- 貸借対照表サマリー
- 総資産は主として受取手形の増加、売掛金の増加等により、13億30百万円の増加
- 総負債は主として未払費用の増加、支払手形及び買掛金の増加等により、2億89百万円の増加
- 純資産は親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加等により、10億41百万円の増加
- 上記の結果、自己資本比率は前期末から0.6ポイント増加し、67.3%
- 設備投資額は、省力化・自動化投資も実施しており、前期から1億64百万円増加の12億22百万円

キャッシュ・フローサマリー

(単位: 百万円)

	2025年3月期	2026年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,271	1,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,415	▲ 1,276
フリーキャッシュ・フロー	▲ 143	589
財務活動によるキャッシュ・フロー	181	▲ 696
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	446	▲ 16
現金及び現金同等物の期末残高	6,450	6,433

■ キャッシュ・フローサマリー

■ 営業CFは18億65百万円の収入

■ 投資CFは12億76百万円の支出 通常設備投資による支出があったことによるもの

■ フリーキャッシュフローは5億89百万円のプラス 前期より7億32百万円の増加

■ 最終的に、期末の現金及び現金同等物残高は64億33百万円となり、前期から16百万円の減少

2027年3月期 通期連結業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2026年3月期 (実績)		2027年3月期 連結累計期間		
			業績予想	前期差	前期比
売上高		42,100	45,000	2,899	106.9%
営業利益	4.8%	2,031	5.1% 2,300	268	113.2%
経常利益	5.2%	2,201	5.0% 2,250	48	102.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.0%	851	2.4% 1,100	248	129.2%
株主資本利益率(ROE)		5.0%	6.2%	1.2pt	
投下資本利益率(ROIC)		7.0%	7.7%	0.6pt	

2027年3月期
配当予想

20円00銭(予定) = 中間 10円00銭 + 期末 10円00銭

【為替レート】 1人民元=22円00銭/1USドル=152円00銭 【設備投資】 設備投資額:16億円 減価償却費:12億円



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

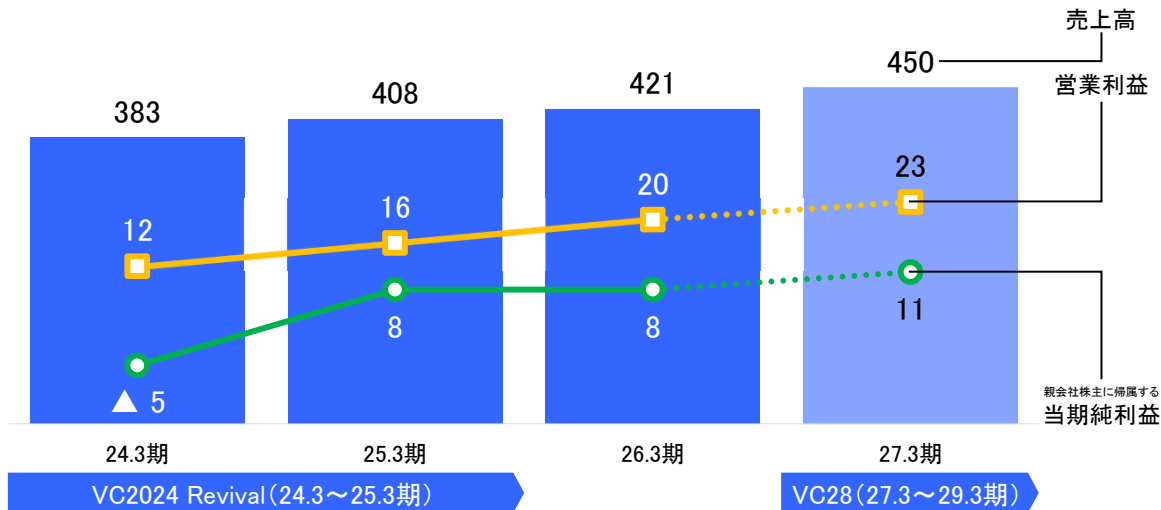
© PUNCH INDUSTRY

9

- 2027年3月期の通期連結業績及び配当の予想
- 当社グループは、2026年度から2028年度の3カ年を計画期間とする新・中期経営計画「バリュークリエーション28（以下、VC28）」を策定
➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/#midterm>
- 中計「VC28」の1年目の数値は、売上高は前期比6.9%増の450億円、営業利益は前期比13.2%増の23億円を見込む
- この数値には中東情勢などの影響を織り込んでいないため、影響が明らかになってきた時は、改めて数字を精査して公表予定
- 配当予想については、株主資本配当率(DOE)3%をベースに算定した結果、年間で20円
- 想定為替レートは、1人民元=22円、1USドル=152円
- 設備投資計画は16億円、減価償却費は12億円

経営数値の推移

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

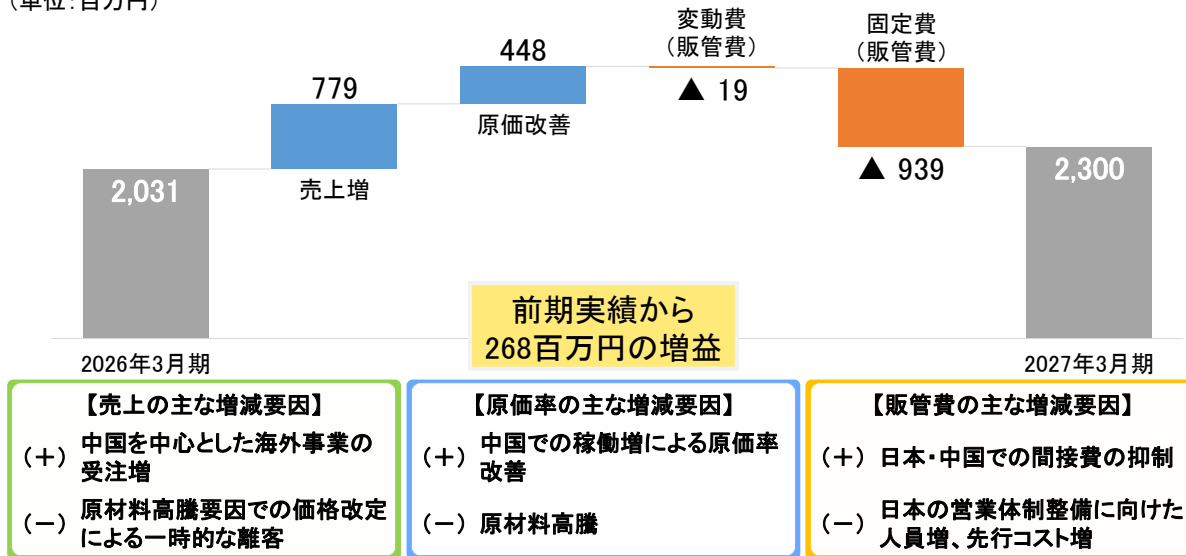
© PUNCH INDUSTRY

10

- 直近の中計実績から今期2027年3月期の予想を、売上・営業利益・当期純利益の推移でグラフ化
- 利益は回復傾向にあるものの、日本事業の立て直しが急務だと認識しており、各種の取組み強化や改革のスピードアップを目指す

営業利益増減(2027年3月期の業績予想)

(単位: 百万円)



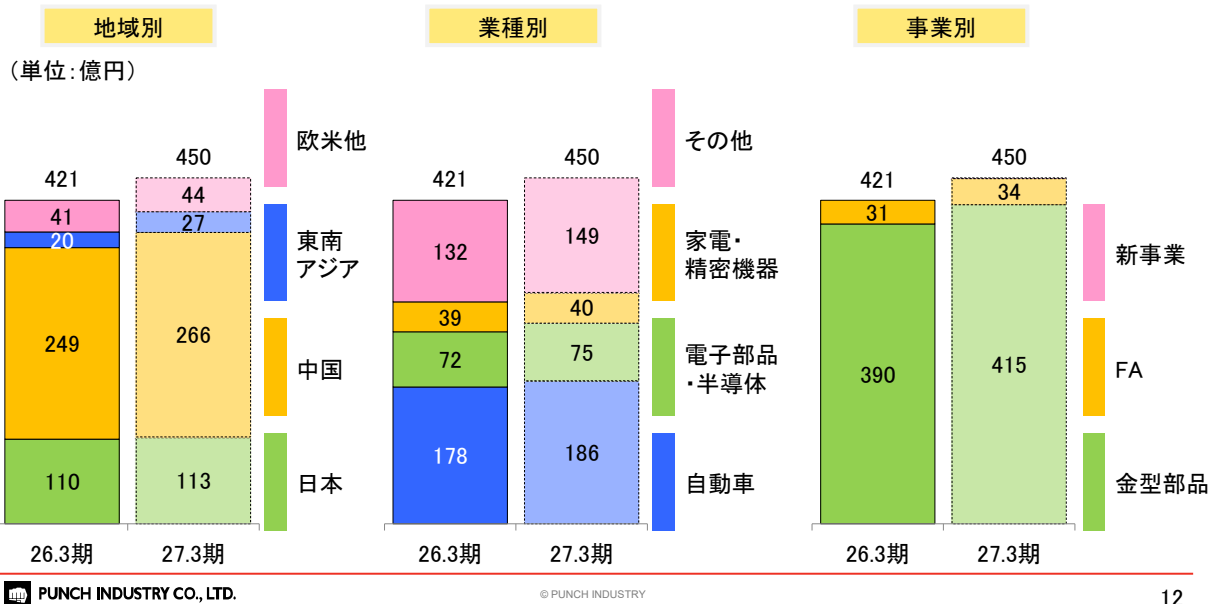
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

11

- 2027年3月期の業績予想値における営業利益の増減についての補足説明
- 中国や東南アジア等の海外事業の売上成長に伴う粗利増加を見込んでおり、併せて、これら海外工場の稼働増により、原価改善を実現見込み
- トップラインを約30億円拡大しても、物流費等の変動費用は増加額を抑制
- 一方、日本事業においては、引き続き、営業体制整備に向けて取組んでいくことから、営業人員増によるコスト先行を見込んだ内容が2027年3月期の営業利益予想に反映
- 記載している増減要素を織り込み、営業利益は、前期の20億31百万円から、2億68百万円増益となる23億円を予想

地域別・業種別・事業別売上の数値目標



■ 2027年3月期の地域別・業種別・事業別の売上推移見込み

■ 資本コストや株価を意識した経営、キャピタルアロケーション等に関しては中計「VC28」内に記載

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/#midterm>

参考資料



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/>

■ 中期経営計画「VC28」及び長期ビジョン「Vision60」

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/#midterm>

■ 決算短信

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/#summary>

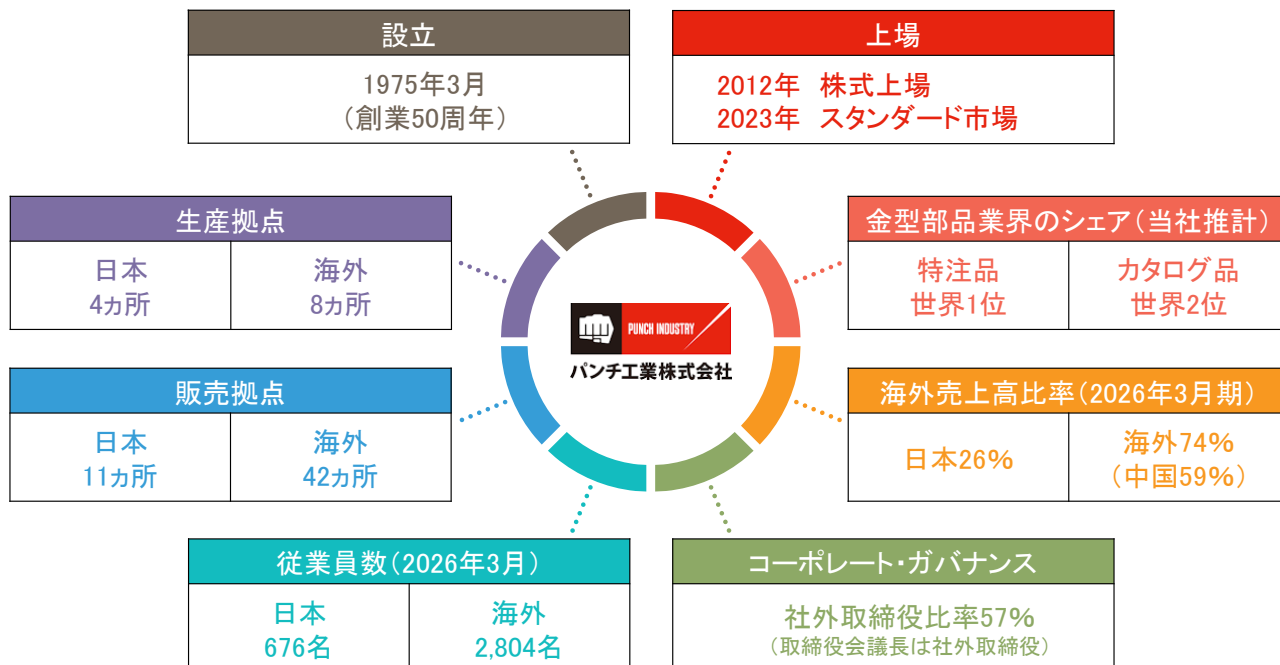
■ 決算説明資料

➤ <https://www.punch.co.jp/ir/library/#presentation>

■ IRニュース一覧

➤ <https://www.punch.co.jp/news/#ir>

ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日 職歴

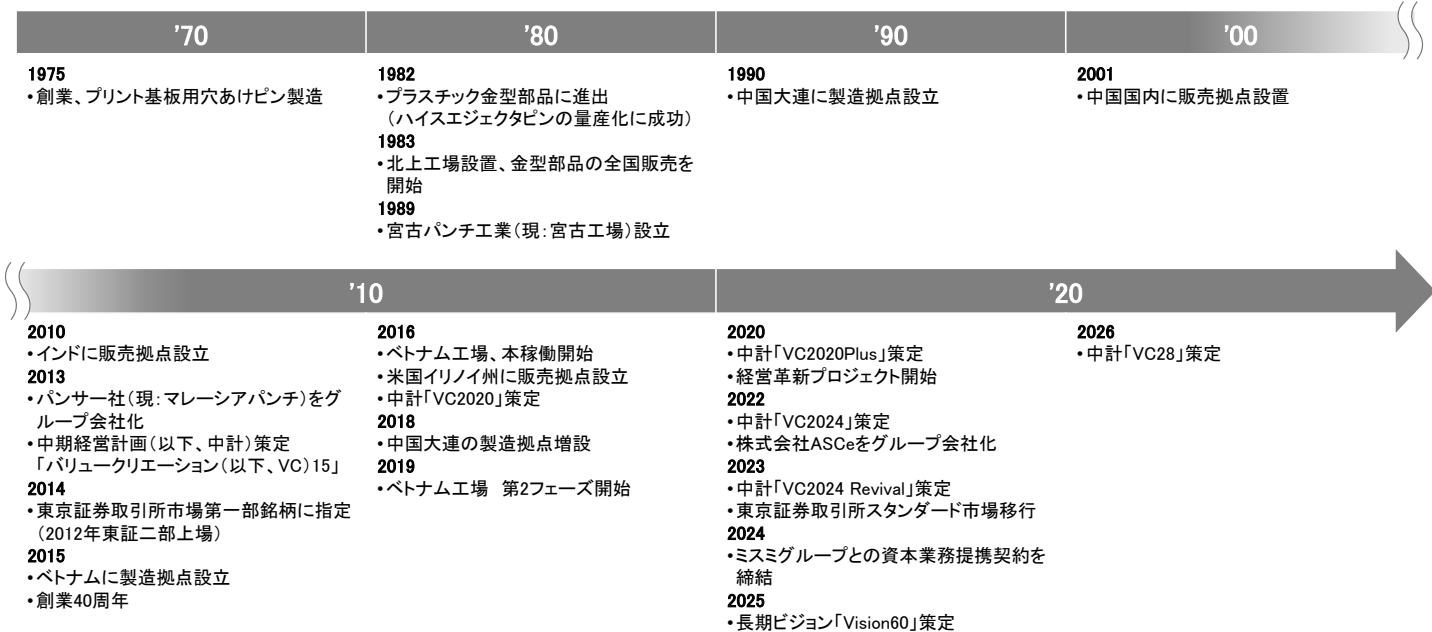
	森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月	当社入社
		2005年2月	盤起工業(大連)有限公司
		2012年11月	バリュー・クリエーション推進室長
		2013年4月	経営企画室長
		2015年4月	PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
		2016年5月	執行役員
		2018年6月	取締役 上席執行役員 経営戦略統括
		2019年4月	最高戦略責任者 グループ事業統括
		2019年6月	代表取締役(現任) 副社長執行役員
		2019年11月	社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

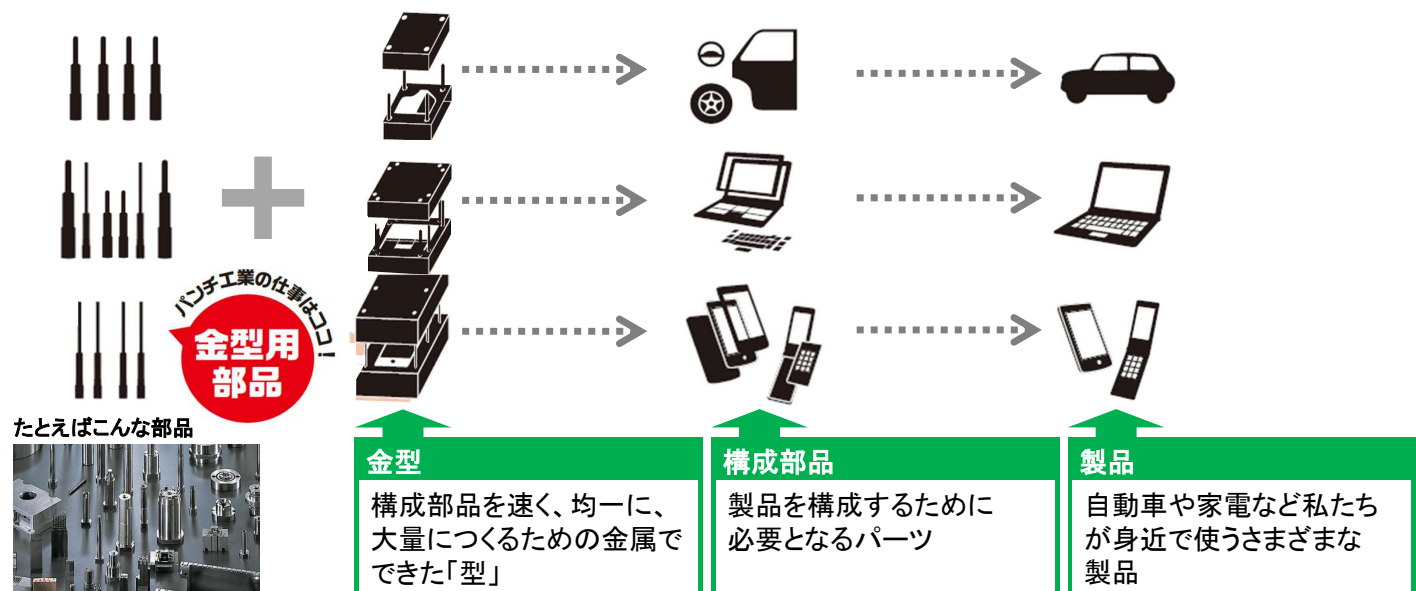


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

18

パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ＆カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計

カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインアップ



タイムリーで的確なソリューション

一気通貫の生産体制
2,000台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応

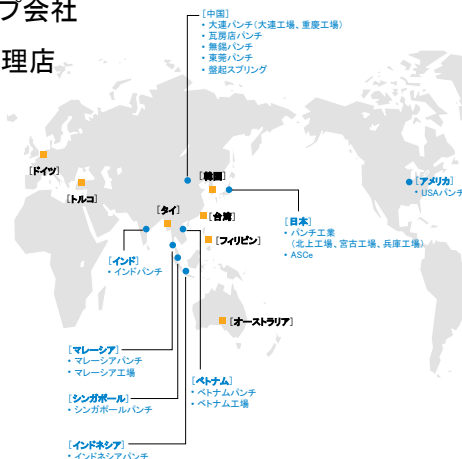


高い技術力
創業以来培ったノウハウと
たゆまぬ研究開発

パンチグループのネットワーク

グループ会社

販売代理店



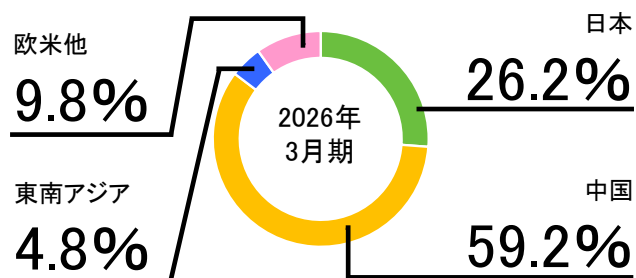
PUNCH

© PUNCH INDUSTRY

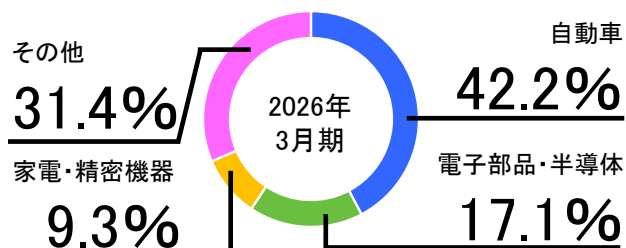
19

地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

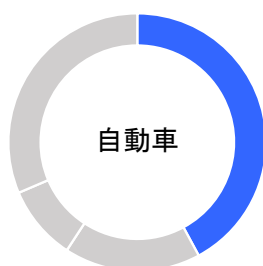


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



主要顧客

自動車メーカー
及びTier1,2
金型メーカー



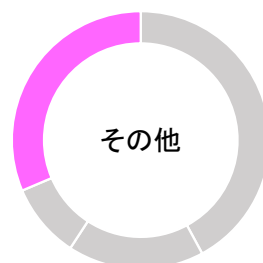
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー

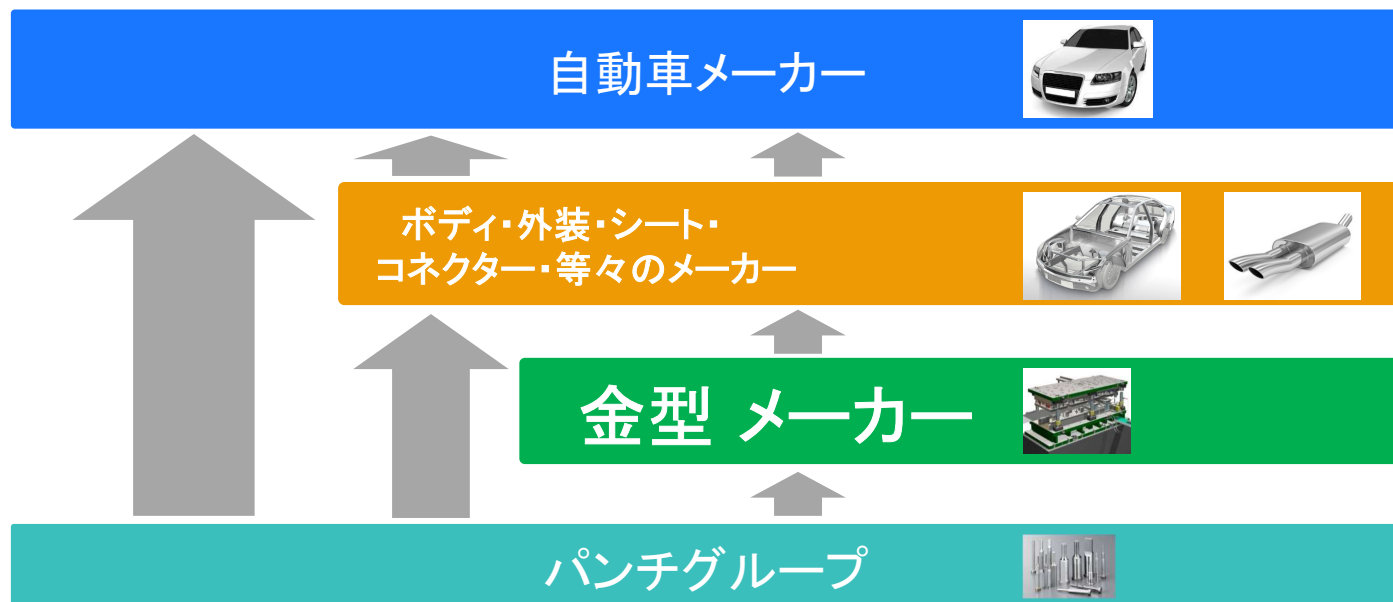


主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー

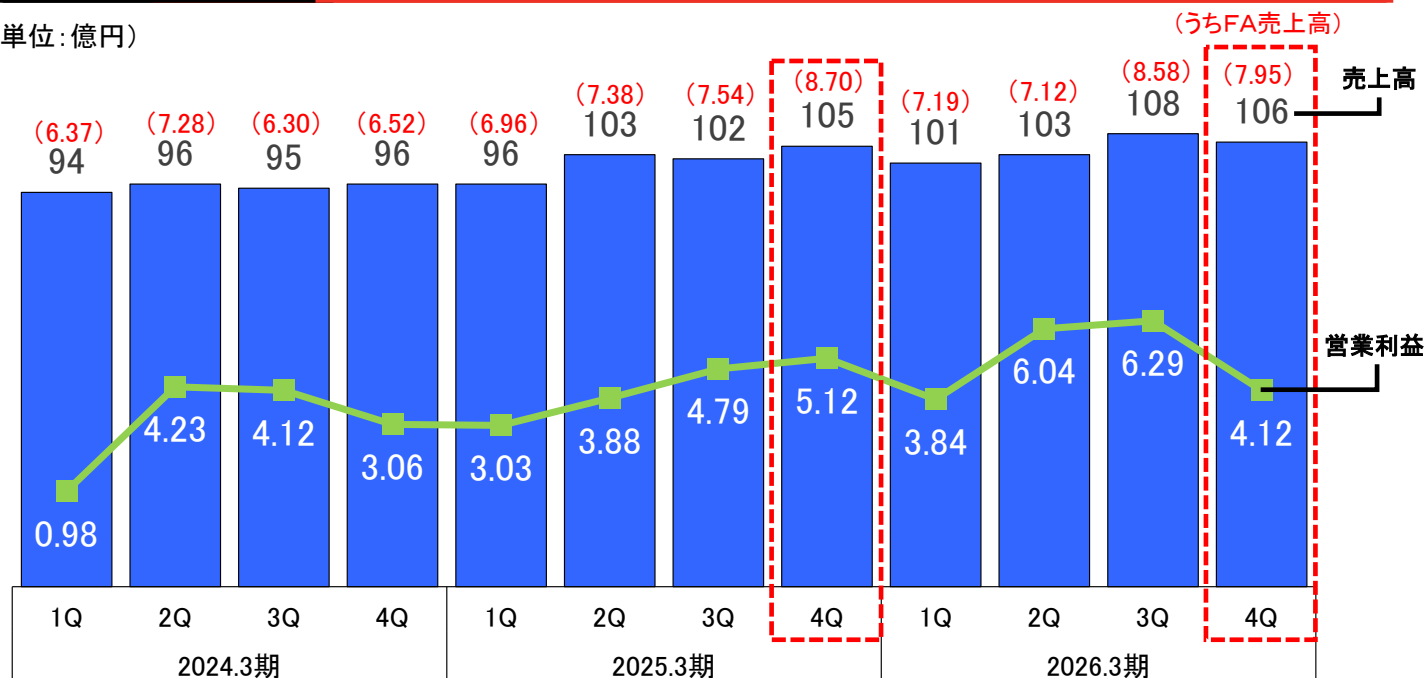
エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー



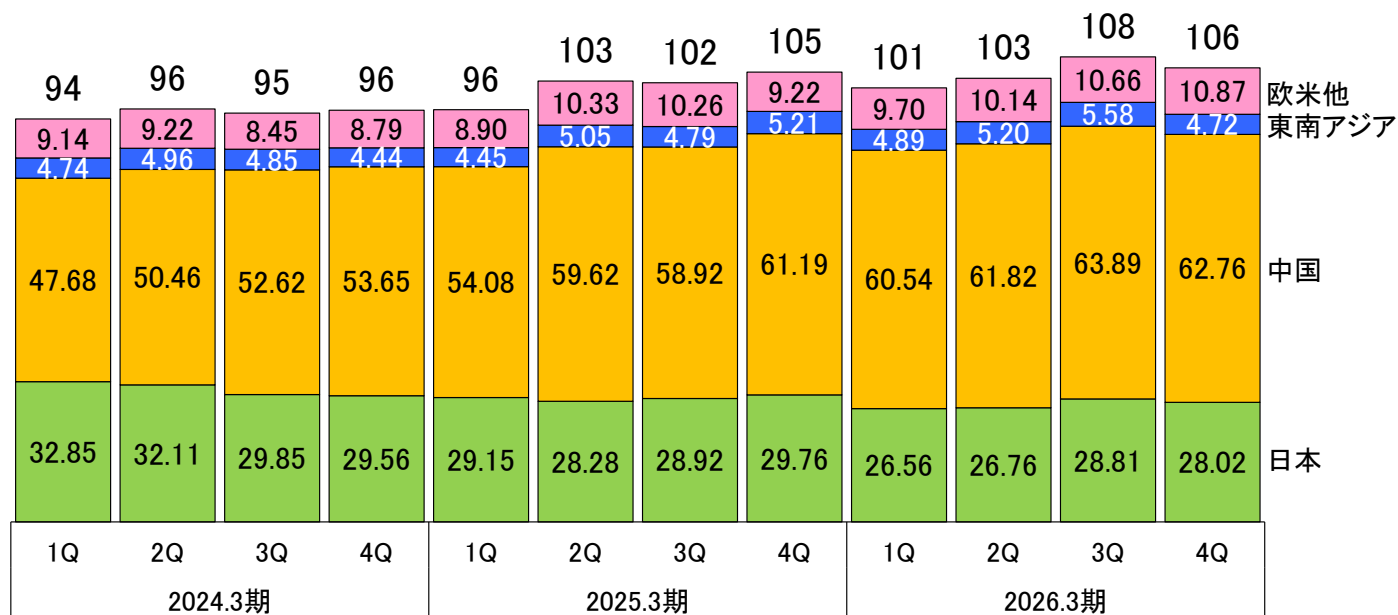
売上高と営業利益の推移

（単位：億円）



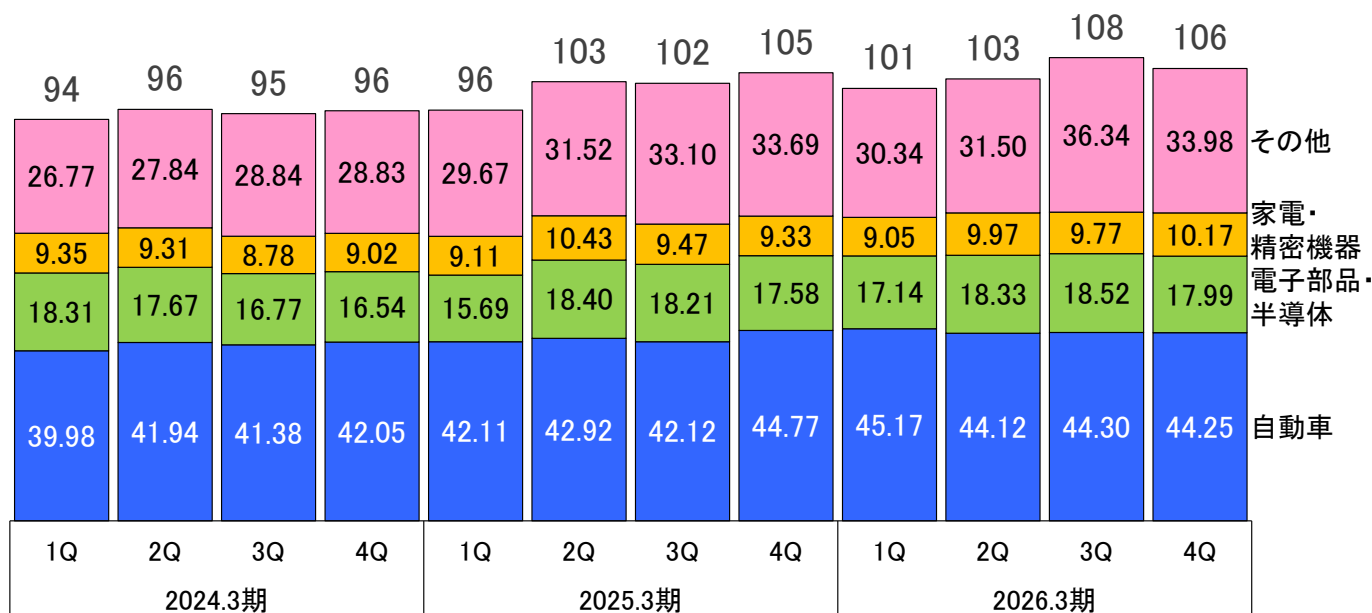
地域別売上高

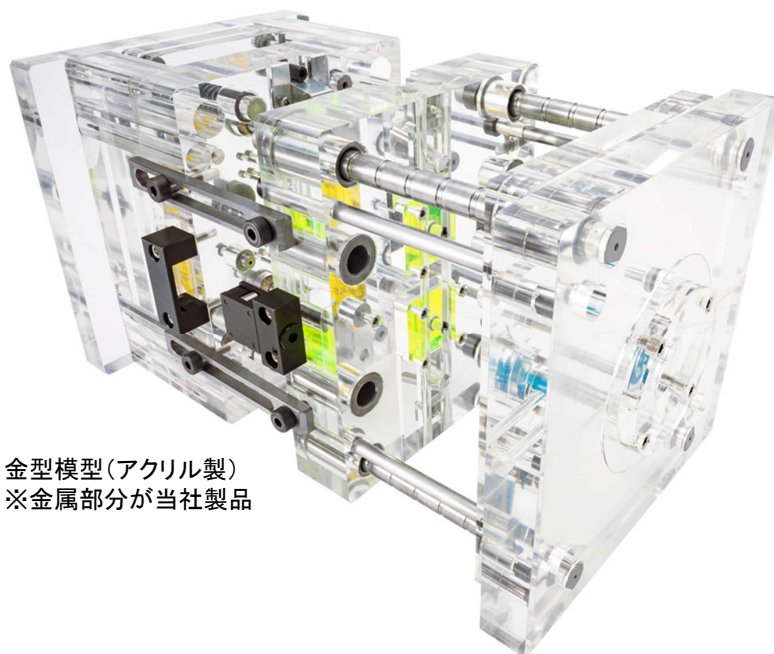
(単位: 億円)



業種別売上高

(単位: 億円)





金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRIに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。